

令和7年度第2回 いなべ在宅医療・介護連携研究会を開催しました

日時：令和8年3月5日(木)18:30~20:00
 場所：員弁コミュニティプラザ
 参加者：64名
 (いなべ市・東員町の医療・介護関係者など)

みんなの納得を生み出す対話 「本質観取」をやってみました！！

テーマ：よい連携とは何か？本質観取で考える

- ◆ よい連携の体験例、具体例・エピソードを話す
- ◆ 傾聴「聴き合う」対話の場
- ◆ グループで出た事例を発表する
- ◆ キーワードを見つける
- ◆ キーワードを確かめる
- ◆ 本質を言葉にする



本質観取は物事の本質をつかみ取るための思考法
本質観取こそ哲学の本質

講師：しんじょう医院
院長 新城拓也先生

♪ 笑ったり・転んだり
バイオリン演奏に癒されました

対話を通じて出たキーワード 「良い連携とは？」

自分と他人の強さ(得意)と弱さ(苦手)がわかる
予見しなかった良いことが起きる

なるほど！確かに！
よい連携にはこういう
条件があるのか
こういう本質があるのか



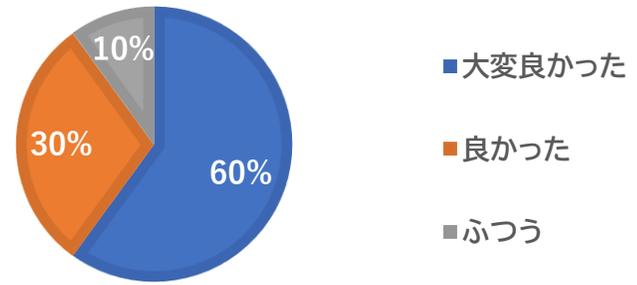
事務局より

研究会へのご参加、アンケートのご協力ありがとうございました。今回の研究会では、職種や経験年数の垣根を超え「気楽に話し合える場づくり」を目的に参加型の研修会を実施しました。参加者全員で対話を通して物事の本質をつかみ取る思考法「本質観取」をやってみました。
 「本質観取」という哲学の奥義に興味を持たれた方がたくさんあり、今後につなげることができればと思います。

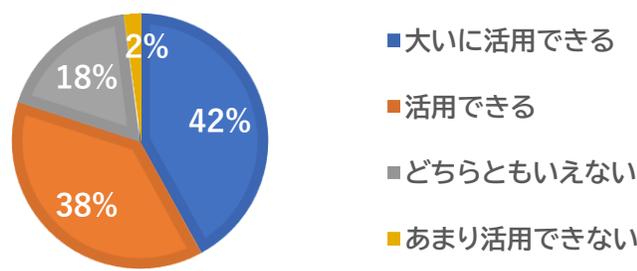
アンケート結果

参加者64名 アンケート回収50名

研究会の満足度



今後の業務に活用できる



- * アンケートの意見・感想(一部抜粋)
- ・ 本質観取 初めて体験した なかなか面白かった
 - ・ 書籍も読んでみたい
 - ・ 本質観取 少し理解できた 継続して学びたい
 - ・ 多職種連携で多くの事例が聞けて大切と感じた
 - ・ 対話することで哲学を深めることができた
 - ・ 雰囲気がよく、意見が言いやすかった
 - ・ 会議でもよい連携のキーワードを意識したい